



スポーツを通じて犯罪のない社会に 「第13回絆ファミリーペナル ティーキック大会」が開催

社会を明るくする運動石岡市推進委員会では、犯罪や非行のない明るい地域社会を築くため、7月から懸垂幕の設置や小学校での啓発活動を実施してきました。3月1日、ばらきサッカークラブ碓石沢グラウンドで、地域社会との絆や親子のふれあいを深めるため「第13回絆ファミリーペナルティーキック大会」を開催しました。当日は、小学生とその保護者ら76組が参加し、会場では、推進委員が参加者に啓発物品を手渡ししながら、本運動への理解と協力を呼びかけました。



▲①推進委員の皆さん ②始球式に臨む谷島市長 ③競技の様子



▲(写真左から2人目より) 有限会社小貫工業 取締役 小貫香織様、副社長 小貫利行様、八郷中学校 原部浩樹校長

地域の子どもの未来のために 有限会社小貫工業から八郷中学校 へワイヤレスマイクが贈呈

水戸信用金庫が取り組む、私募債を発行した企業から、SDGsの達成を目的とした物品を国や地方公共団体などへ寄贈する「しんきんSDGs私募債『ちいきのミライ』」を活用し、有限会社小貫工業(型枠工事業)から八郷中学校へワイヤレスマイクが寄贈されました。有限会社小貫工業は柿岡小学校へ寄贈したこともあり、副社長の小貫利行様は「地域の学校・子どもたちの役に立つことができて光栄です」とお話されました。

素晴らしい結果を称えて 令和6年度石岡市スポーツ振興 奨励表彰式を開催

3月10日、令和6年度石岡市スポーツ振興奨励表彰式にて、スポーツ全国大会・関東大会などで上位入賞をされた方々、スポーツ振興の発展および地域のスポーツ水準向上に貢献された方々に対して表彰を行いました。

今年度はスポーツ振興奨励表彰者として個人19名を表彰しました(表彰式当日3名欠席)。表彰された方々の詳しい成績については市ホームページからご確認ください▶



▲受賞された皆さまへ谷島市長より表彰状が贈呈されました。改めて、おめでとうございます。



高校生が茨城の魅力を探究し発信！ 石岡二高生がいばたん映画祭コンテストにて自治体特別賞受賞

茨城の魅力を探究し発信する高校生コンテスト（通称いばたん）2024 映画祭で、石岡二高の鈴木さん、吉田さん、開田さんのチームによる「大調査！まちかど情報センター」が自治体特別賞を受賞しました。いばたんは作品制作を通じて高校生に地域への愛着や郷土愛を育むことを目的に茨城大学が中心となってスタートしました。6回目の開催となる今回は、全 295 作品の応募があり、石岡二高の作品は、「まちかど情報センター」の目的や役割を、オリジナル Vtuber「獅子舞リリィ」を用いて紹介し、見事自治体特別賞（石岡市）を受賞しました。



▲（写真左から）石岡第二高等学校鈴木^{ゆうな}奈さん、吉田^{ひなの}陽菜乃さん、開田^{つづき}遼月さん、谷島市長



▲「ろうかにベンチのある学校」を発表したグループ。聞いてもらうことで発表に対するモチベーションが上がりました。

理想の学校を子供たちが考える！ 誰もが明日行きたいと思える 学校づくり

東小学校の5年生が「かがやき（総合的な学習の時間）」の授業で、だれもが「明日行きたい」と思える学校についてプレゼンテーションを行いました。約5カ月間、学習に取り組んだ児童の中で、各クラスから選出された代表6チームが探究の成果を発表しました。発表を行った児童は「データを引用して根拠をもって発表することを大切にしたい」と感想を述べるなど、発表に手応えを感じていた様子でした。

安全・安心な登下校の実現に向けて 地域ぐるみの見守り活動 「小幡スクールガード」発足

小幡小学校児童の安全な登下校を見守るため「小幡スクールガード」が発足されました。3月30日に同校体育館で行われた発足式では、地域の方々や関係者が参加しました。スクールガードの一員である島田さんは「活動を通してドライバーの運転意識を高め、児童の安全を守っていきたい」と話してくれました。今後も地域と連携しながら、児童たちが安心して登下校できる環境づくりを進めていきます。



▲スクールガードの活動について説明する島田さん（写真右）と関係者の皆さん。発足式ではベストや交通安全の旗が配付されました。